

# 【会議録（概要）】

実施日時： 令和4年6月28日（火）10時00分～11時30分

会議名	令和4年度 第1回 越谷市科学技術体験センター運営委員会	実施場所	科学技術体験センター 2階 レクチャー室
件名／議題	1. 開 会 2. あいさつ 3. 委員自己紹介 4. 報告事項 (1) 令和3年度（4月～3月）事業報告について 5. 協議事項 (1) 令和4年度事業計画（案）について 6. その他 7. 閉 会		会議資料： (■有 □無)
出席者等	出席委員：手嶋委員長、井原副委員長、鈴木委員、木野内委員、野口委員、安川委員、柳委員、池田委員 事務局：鈴木教育総務部長、木村生涯学習課長 小拔生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長 浅古主幹 小高主幹 武田主任指導主事 松井主任 島村主事 傍聴人：なし		
●内容等	1. 開 会 2. あいさつ 3. 報告事項 (1) 令和3年度（4月～3月）事業報告について ・学校教育関係事業（学校利用事業、低学年対象のプログラミング事業等）の実施状況の報告 ・生涯学習関係事業（企画展示事業、科学講座等）の実施状況の報告 ・新型コロナウイルス感染症の影響下での事業実施について 協議事項 (1) 令和4年度事業計画（案）について ・学校教育関係事業（学校利用事業、低学年向けプログラミング事業等）の継続的な実施について ・インタラクティブ体験装置の導入について 4. その他 次回運営委員会について 5. 閉 会		

## 令和4年度（2022年度）第1回越谷市科学技術体験センター運営委員会

- 日 時 令和4年6月28日（火） 10時00分～11時30分
- 場 所 越谷市科学技術体験センター 2階レクチャー室
- 出席者 （委員8名）手嶋委員長、井原副委員長、鈴木委員、木野内委員、野口委員、安川委員、柳委員、池田委員  
（事務局7名）鈴木教育総務部長、木村生涯学習課長  
小抜生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長  
浅古主幹、小高主幹、武田主任指導主事、松井主任、島村主事
- 欠席者 （委員3名）林委員、金子委員、大塚委員
- 会議次第
- 1 開 会
  - 2 あいさつ
  - 3 委員自己紹介
  - 4 報告事項
    - （1）令和3年度（2021年度）事業報告について
    - （2）令和3年度（2021年度）決算概要について
  - 5 協議事項
    - （1）令和4年度（2022年度）事業計画（案）について
    - （2）令和4年度（2022年度）当初予算について
  - 6 その他
  - 7 閉 会
- 内 容 下記のとおり

---

### 会 議 内 容

---

#### 令和4年度（2022年度）第1回運営委員会会議録（令和4年6月28日開催）

- 1 開会 小抜生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長（司会）
  - 2 あいさつ 手嶋委員長、鈴木教育総務部長
  - 3 委員自己紹介
  - 4 報告事項
    - （1）令和3年度（2021年度）事業報告について
- 議 長 令和3年度（2021年度）事業報告についての説明を求める。

- 事務局 令和3年度（2021年度）事業報告の資料に基づいて説明を行う。
- 議長 委員に諮る。
- 委員 未だ新型コロナウイルス感染症の流行が収まらない状況の中、入館時に行っている入館カードの記入や検温の実施について、来館者からの反応はどうであったか。また、今後これらの入館手続きについてどのようにしようと考えているか聞きたい。
- 事務局 新型コロナウイルス感染症がまだ収束していない状況であるため、来館者のご協力をいただきながら入館カードの記入は続けていきたい。感染症の状況が落ち着いてきた場合、入館カードの記載なしでご入館いただくことも考えていきたいが、現段階では、引き続き入館時に入館カードを記載していただく今の方法を続けていきたい。
- 委員 現在、館内の体験装置等について使用の制限を行っているが、この先の制限解除の見通しはどのように考えているのか。
- 事務局 センター所有の体験装置については、接触型の装置がほとんどであるため、すぐに使用を再開するという事は考えていない。装置の消毒方法等、確認しながら使用再開に向けて検討していきたい。
- また、今年度は新たに非接触型インタラクティブ体験装置の導入を予定しており、今後、予定通り装置が導入されれば、新たな体験機会の提供ができると考えている。
- 文化庁から発出されている「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の内容を鑑みて、今後、少しずつ感染症対策の緩和を図っていきたいと考えている。
- 委員 事業を実施する中で、子供たちが体験の途中で飽きてしまったり、中だるみしないよう工夫している点や取り組みがあれば聞きたい。
- 事務局 小さいお子様や小学校低学年のお子様であると、中には中だるみしてしまう子もいる。そういった子が飽きてしまわないよう、説明が難しくならないよう気を付けているほか、講座そのものが楽しんで取り組める内容となるよう、工夫して組み立てている。そのため、途中で飽きてしまうような子は、あまり見かけないように感じる。
- 例えば、小学校低学年向けの親子講座「親子で作る UFO 基地」では、スイッチをつけると UFO が浮かび上がり、消すと元の場所へ戻ってくるという動きをする装置の工作ができる。このように、工作物などに動きがあるようなものであれば、子供や大人も最後まで楽しんで講座を受講することができると考えている。
- 講座の内容については、毎年、内部講師が新しい事業案を出しているほか、これまでの事業にも少しずつ工夫や改善を加えながら実施している。

- 委員 学校教育関係事業、生涯学習関係事業ともに、たくさんの事業計画・実施をしているようだが、昨年度はいずれも開催中止となっている事業がある。あらかじめ事業を計画していたにも関わらず開催中止としているのは、新型コロナウイルス感染症が理由であるのか。
- 事務局 新型コロナウイルス感染症が理由で中止とした。学校でも、急遽、学級閉鎖になったなどの理由から事業を中止したこともある。
- 事務局 学校利用事業については、指導計画に位置付けて行っている事業であるため、なるべく中止とならないよう、学級閉鎖があった場合は延期日を設定して対応したが、もともと3学期に開催を予定していた学校は、学校側の状況や日程的にそれ以上延期ができなかったことから、やむなく中止となった学校もある。
- 委員 生涯学習関係事業の開催中止についても、同じく新型コロナウイルス感染症が理由であるのか。
- 事務局 生涯学習関係事業についても同様に、コロナウイルス感染症が理由で中止となった講座がある。生涯学習関係事業については、元からの事業数が多く延期日を設定することが難しいため、延期ではなく開催中止とした。
- 議長 中止の主な理由としては、運営委員会資料22ページ下に記載のある昨年度中3回の蔓延防止等重点措置及び緊急事態宣言、特に3学期に蔓延防止重点措置が発令されたことから、その影響が大きかったのではと考えるが、そのような認識で正しいか。
- 事務局 運営委員会資料22ページに記載のとおり、蔓延防止等重点措置及び緊急事態宣言の影響によって事業を中止した。

## (2) 令和3年度(2021年度)決算概要について

- 議長 令和3年度(2021年度)決算概要についての説明を求める。
- 事務局 令和3年度(2021年度)決算概要の資料に基づいて説明を行う。
- 議長 委員に諮る。

—意見なし—

## 5 協議事項

## (1) 令和4年度(2022年度)事業計画(案)について

- 議長 令和4年度(2022年度)事業計画(案)についての説明を求める。
- 事務局 令和4年度(2022年度)事業計画(案)の資料に基づいて説明を行う。
- 議長 委員に諮る。
- 委員 学校利用事業は、3・5年生の児童が楽しみにしている事業である。昔はバスで児童が科学技術体験センターへ来館していたが、今は科学技術体験センターの職員が学校に赴き事業を実施している。学校としては、センターへの移動に掛ける時間が無くなることに加え、安全面でも助かっている。  
また、センターでは様々な科学講座を開催しているが、実際に足を運ぼうと思っても、なかなか時間が確保できないところである。可能ならば、講座内容を動画で配信してもらえると、授業やクラブ活動の場面で科学に興味関心のある児童に見せることができるため、配信の検討をお願いしたい。
- 事務局 講座の動画配信については、以後、検討していきたい。また、学校向けとしては、SDGs展の際に併せて行っていた実験動画を、学校系PCでご覧いただくことができようになっている。動画の視聴について、周知しきれていない部分があったのかもしれない。今後、改めて周知ができたらと考えている。
- 委員 学校系PCでは、教員しか見ることができない。子供がタブレット端末で自由に視聴できるよう、ネット上などにあげてもらえるとありがたい。
- 委員 小学生向けの様々な事業が多く開催されており、素晴らしい。一方で、小中学生と大人の間にあたる高校生や大学生へのアプローチについての考えを聞きたい。
- 事務局 高校生、大学生へのアプローチとしては、開催予定の企画展等の情報を市内の公共施設、学校、大学にお知らせしているほか、講座情報はシティメールでも配信している。当センター所属の「サイエンスボランティア」には、学生ボランティアの登録もあるため、ボランティア活動としてのアプローチも考えられるが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下ということもあり、大々的にアプローチできていないのが現状である。
- 事務局 希望する大学には、センター職員を派遣して行う派遣授業も行っている。ご希望さえあれば、そういった形でお伺いすることも可能である。また、高校生については、センター主催の講座に講師としてお越しいただいている。これまで交流のあるものについても、今後コロナの状況が落ち着けば、より活発になっていくようになると考えている。

- 委員 生物・地学関連の講座を増やす予定があるということであったが、例えばどのような講座を開催する予定があるか聞きたい。
- 事務局 生物関連では、ミラクルの前にある七左第四公園を活用したり、まだ案の段階ではあるが、例えば東武動物公園のような場所へ行って、生き物を観察するといったことができないか、などを考えている。これは、生き物を観察するといった視点での講座がこれまで無かったためである。  
また、地学については、地球を知ろうという視点からミニ地球儀を工作して地球の様子を観察する講座などを実施する予定である。  
また、動画の話について、運営委員会資料11ページをご覧くださいと、センターホームページにて公開中の動画の記載がある。こちらに記載されているものは、インターネットから視聴が可能なのでご活用いただけたらと考えている。
- 議長 防災教育に関する講座についても、今年は実施計画に入っている。昨年度の運営委員会で、防災教育が今後重要になるという観点から、そういった講座を増やしてほしいという意見が出ていたと記憶している。今年度はそういった講座の開催予定もあるように見受けたが、いかがだろうか。
- 事務局 講師に熊谷気象台の方をお招きし、専門的なお話をいただく防災講座を、子供向けと大人向けの2回に分けて開催する予定である。

## (2) 令和4年度(2022年度)当初予算について

- 議長 令和4年度(2022年度)当初予算についての説明を求める。
- 事務局 令和4年度(2022年度)当初予算の資料に基づいて説明を行う。
- 議長 委員に諮る。
- 委員 先ほど、生物・地学関係の講座について話があった。市内には科学技術体験センターのほかに、児童館コスモス、児童館ヒマワリがある。コスモスとヒマワリは科学技術体験センターと所管課が違うので、連携など難しい部分があるのかもしれないが、コスモスは地学、ヒマワリは生物にそれぞれ力を入れている。そういったところと連携を取っていくことで、予算の執行にも差し響く部分があるのではないかと考えるが、いかがだろうか。
- 事務局 お話のとおり、コスモス、ヒマワリとは所属部署が異なっている。そのため、当センター予算との直接的な関わりはないが、事業の連携はしていきたいと考えている。それぞれの館の長所を活かして、協力し合いながら引き続き事業を行っていきたい。

## 6 その他

議 長 委員、事務局に連絡・報告等の事項を尋ねる。

事務局 令和4年（2022年）第2回越谷市科学技術体験センター運営委員会の開催について説明する。次回は令和4年（2022年）11月に開催予定。

手嶋委員長が議長の職を降り、司会が進行役となる。

## 7 閉会 井原副委員長